

国民民主党代表選にあたって

ご安全に。加盟組合・構成組織、県本部・県センターの皆さんの連日のご奮闘に心より敬意を表します。

本年5月7日に発足した国民民主党初の代表選が、一昨日8月22日に告示されました。9月4日に開催される国民民主党臨時大会で代表選がおこなわれることとなります。

政治の舞台は、昨年9月28日の衆議院解散、第48回総選挙における野党の分裂によって、乱立構造に陥りました。この混沌とした状況を打開するために、大同団結を連合はじめ基幹労連としても強く訴えてきたものの一つの塊とはなりえず、希望の党と民進党を中心とする新党として国民民主党が発足しました。この新党発足にあたって、基幹労連中央本部は6月4日開催の第21回中央執行委員会において、「綱領や政策が一致している国民民主党を支持」することを確認し、すべての組織に発信してきたところであります。

国民民主党発足にあたって、当時の希望の党と民進党内に渦巻く多くの意見や考えを粘り強く取りまとめてきた希望の党代表・玉木雄一郎衆議院議員（基幹労連国政フォーラム議員）と民進党代表の大塚耕平参議院議員の努力と貢献は多大なものがあります。この二人の代表がいなければ、働く者・生活者の声を代弁する新党・国民民主党の誕生には至りませんでした。

しかしながら、多くの期待を背負い発足した国民民主党の支持率は、調査機関によって多少の差はありますが、現段階においても概ね1%程度と低迷を続けています。今、先ず党一丸となって取り組まなければならないことは、党勢の拡大とさらなる認知度の向上、支持率アップに他なりません。このことは、来年施行予定の第19回統一地方選挙そして第25回参議院議員選挙に臨む基礎となるものでもあります。

9月4日に開催される国民民主党臨時大会において実施される代表選では、国民民主党一丸となって諸課題に取り組める基盤を強化するため、しっかりとした熱い政策議論のもとで新代表を選出し、「わが国の発展と国民の安心・安定に向けた政党＝国民民主党」としての新たなスタートラインにしなければなりません。その確実な一歩を期していくためには、厳しい環境のなかであっても、新党発足の道を拓き、その運営にあたってきた強いリーダーシップと経験が不可欠であります。

今こそ、基幹労連が掲げる国家と国民のために切磋琢磨する「二大政党的政治体制」を着実に根付かせるためにも、国民民主党が新代表の力強いリーダーシップの下で、確実に拡大し発展していくことが重要であります。

国民民主党の党员・サポーターの皆さんの積極的な投票行為をお願いします。

2018年8月24日
日本基幹産業労働組合連合会
事務局長 弥久末 顕